



ことしはどんな仕事をするの？

宮古市の 予算説明書

宮古市が進める今年度の主な事業を紹介します。



「森・川・海」とひとが調和し共生する安らぎのまち

写真：愛宕保育所の子どもたち



「宮古創生」

工夫と挑戦で
持続可能なまちへ



ごあいさつ

宮古市議会令和4年3月定例会議において、重点施策など令和4年度の主な取り組みを掲げる「宮古市経営方針」をお示しし、総額505億928万円の予算をお認めいただきました。

私は、市長就任以来、本市の目指す姿である「安定した仕事を持って、子どもを幸せに育てられるまち」の実現に向け、市民との対話を重視しながら、公正・公平・公開を信条に、市民総参加による官民一体となったまちづくりに取り組んでおります。

本年4月には、出崎ふ頭に新たな「海のにぎわいエリア」が誕生いたします。交流拠点となる出崎ふ頭と、運航再開の遊覧船。新たな船出に向け、万全の準備を整え、お客様をお迎えいたします。

また、宮古の地域色である「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を遊覧船などにも活用し、宮古の「いいイロ」として親しまれるよう、市を挙げて情報を発信してまいります。

「誰ひとり取り残さない」

SDGs（持続可能な開発目標）の基本理念のもと、魅力ある持続可能なまちづくりを進めるため、「新型コロナウイルス感染症対策の着実な推進」、「再生可能エネルギーによる地域内経済循環」、「持続可能な公共交通の構築」を牽引する3つの柱として、市政運営を行ってまいります。

○新型コロナウイルス感染症対策の着実な推進

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行から2年が経過いたしました。

いまだに収束が見えない状況が続いている中、あらためて医療の最前線で従事される多くの皆さまのご尽力に感謝申し上げます。今後も、市民一丸となってこの難局を乗り越えるという決意のもと、「感染予防対策」「暮らし・経済対策」に取り組んでまいります。

○再生可能エネルギーによる地域内経済循環

宮古市では、「ゼロカーボンシティ」を表明し、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする取り組みを進めています。脱炭素社会の実現には、エネルギー総量の削減や効率化、再生可能エネルギーの導入を進める必要があります。

再生可能エネルギーの導入は、生活の快適性や地域内経済循環など様々な恩恵を地域にもたらします。洋上風力発電をはじめとする地域の特性を生かした新しいエネルギーの導入に向けた取り組みを進めるとともに、エネルギー事業で得た収益を地域の課題解決や公共サービスの維持につなげる仕組みを構築してまいります。

○持続可能な公共交通の構築

「宮古市地域公共交通網形成計画」に掲げる基本方針「みんなでつくる みんながつながる 公共交通」の実現に向けて、通学・通院、外出等の生活交通の維持と公共交通空白地への対策を推進します。

宮古駅の跨線橋バリアフリー化を進めるほか、八木沢・宮古短大駅のアクセス改善に向けた設計に着手いたします。また、地域バス・デマンドタクシーサービスの普及など利便性を高め、市民の利用を促進し、公共交通を次世代へと継承してまいります。

令和4年4月

宮古市長 山本正徳

令和4年度わたしたちのまちの 予算

■問い合わせ 財政課 (☎ 68-9068)

令和4年度の予算が市議会で可決されました。一般会計、特別会計および企業会計を合わせた予算額は505億928万円で、前年度と比較すると約3億1,100万円の減少となります。『宮古市総合計画』に掲げる都市の将来像『「森・川・海」とひとが調和し共生する安らぎのまち』の実現に向け取り組んでいきます。

予算

総額 505億928万円 (前年度比0.6%減)

一般会計

総額 313億2,400万円
(前年度と同程度)

教育や福祉、公共施設の整備、市役所などの運営など、市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

公営企業会計

総額 48億9,712万円
(前年度比1.9%減)

地方公営企業法が適用される公営企業において、事業ごとにその経営成績及び財務状況を明らかにして経営すべきものであるため、その経理を行う会計です。

会計名	予算額	対前年比
水道事業会計	22億979万円	△2.3%
下水道事業会計	26億8,734万円	△1.5%

※対前年比(伸び率)は、令和3年度当初予算との比較

特別会計

総額 142億8,816万円
(前年度比1.5%減)

特定の目的のための会計で国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計とは切り離して収入・支出を経理する会計です。

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険事業会計	62億2,580万円	△3.8%
国民健康保険診療施設会計	4億5,926万円	△4.1%
後期高齢者医療会計	8億1,916万円	18.8%
介護保険事業会計	65億1,452万円	△1.2%
介護保険サービス事業会計	41万円	△92.1%
農業集落排水事業会計	3,437万円	12.7%
漁業集落排水事業会計	2,105万円	△4.8%
浄化槽事業会計	1億7,789万円	△5.8%
魚市場事業会計	3,004万円	30.6%
墓地事業会計	397万円	△11.5%
山口財産区会計	27万円	0.0%
千徳財産区会計	27万円	0.0%
重茂財産区会計	3万円	△60.0%
刈屋財産区会計	114万円	0.0%

※対前年比(伸び率)は、令和3年度当初予算との比較

基金と市債

■基金(貯金)

年度間の財源調整をする財政調整基金のほか、教育振興、産業振興、再生可能エネルギー推進など特定の目的で積み立てる資金です。

▷基金の合計額(令和2年度末実績)

158億646万円

■市債(借金)

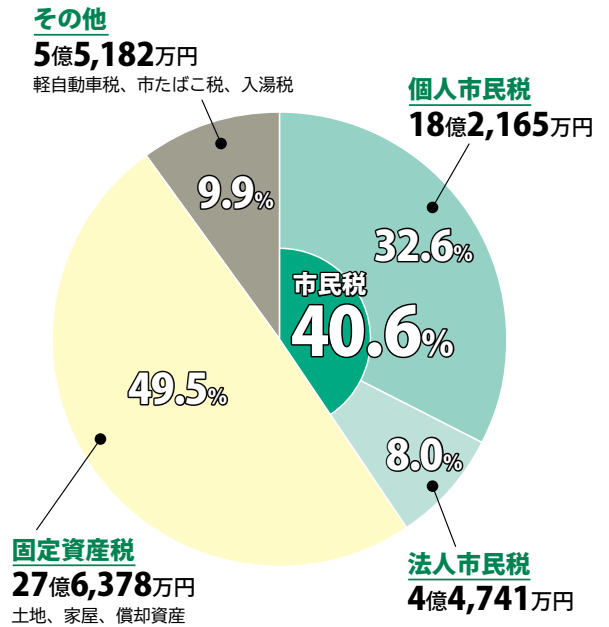
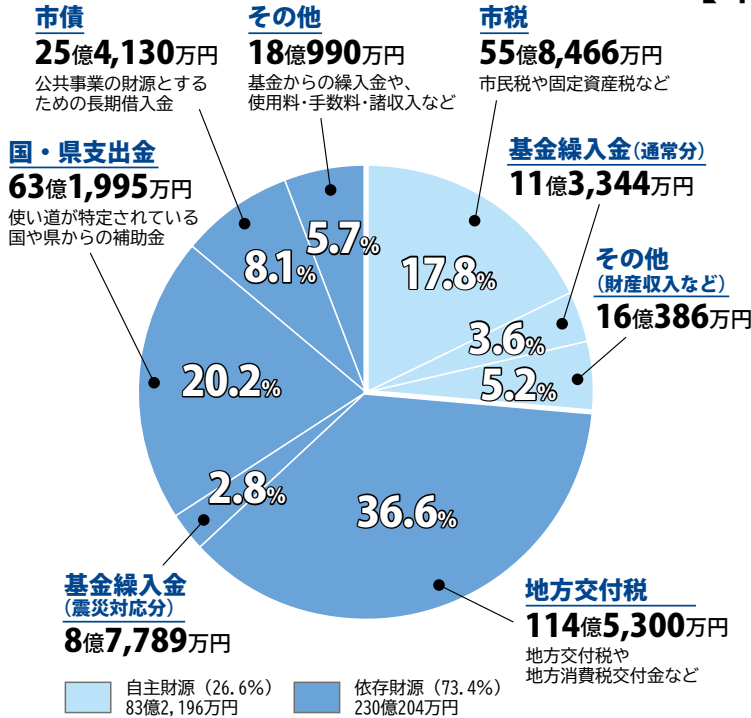
学校や道路など、将来にわたって使用する公共施設の整備に必要な借入です。

▷市債の残高(令和2年度末実績)

469億6,079万円

一般会計予算の歳入

【市税の内訳】



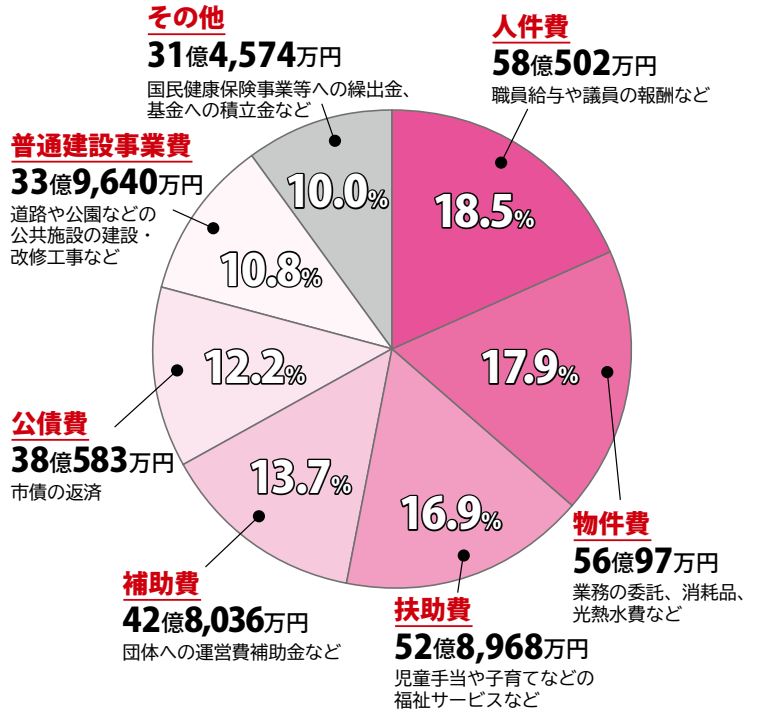
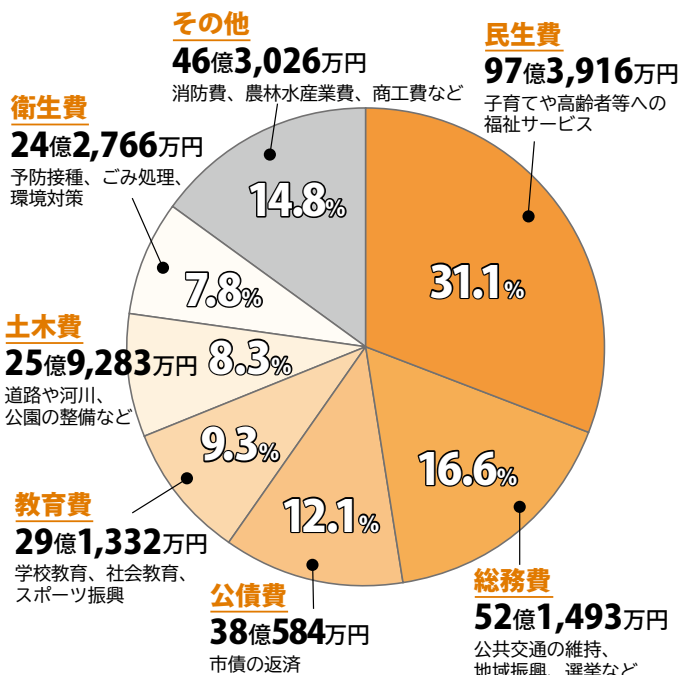
一般会計予算の歳出

目的別

福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類

性質別

人件費や扶助費など、経費の経済的性質に着目した歳出の分類



SDGsを自分ごとに。 1人の100歩より、100人の1歩



SDGsとは？

最近、「エス・ディー・ジーズ」ということばを耳にすること、ロゴやアイコンを目にすることが増えてきました。SDGsは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。貧困や不平等・格差、気候変動などに関する17の目標（ゴール）と169の具体的な活動（ターゲット）によって構成されています。

SDGsと宮古市役所の仕事

市役所の仕事のすべてがSDGsにつながります。本冊子で紹介する事業ごとに目標のアイコンを掲載しました。それぞれの取り組みによって目指す姿を市民の皆さんと共有するためです。

そして、「住み続けられるまちづくりを（目標11）」、多種多様な個人、組織との「パートナーシップで（目標17）」進めていきます。そのために、市民の皆さんがSDGsは身近であると感じられるよう伝えることに力を入れていきます。

あなたのSDGs

では、あなたは、SDGsとどのように関わりますか？

日常生活で簡単に取り入れられる行動もあります。一人では小さな一歩に見えることが、集まれば大きな変化となります。あなたの一歩が「持続可能なまち」につながります。共に目標達成に向かって行動していきましょう。

※本冊子で紹介する事業は、今年度宮古市が行う事業の一部となります

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 新型コロナウイルス感染症対策の 着実な推進

<p>3 すべての人に 健康と福祉を</p> 	<p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p> 
--	---	--	--

感染予防に関する知識の普及・啓発を図ります。また、医療機関、保健所をはじめとする関係機関と連携を図りながら、下記の事業を実施します。

重点事業

新型コロナウイルスワクチン接種 8,498万円（健康課）

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、ワクチン接種を実施します。また、新型コロナワクチンの接種が円滑に行われるよう必要な体制を維持します。

接種券を順次発送するほか、ワクチン接種について、市ホームページ、各種SNS（Facebook、Twitter）を活用して発信します。



地域外来・検査センター運営事業
1,372万円
休日急患診療所運営事業
350万円
(健康課)

地域外来・検査センターおよび休日急患診療所を運営します。新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、医師が検査の必要があると判断した人には、PCR検査などを実施します。円滑な検査体制の継続により、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ります。

2 再生可能エネルギーによる地域内経済循環

7 エネルギーをみんなに もってクリーンに 	11 住み続けられる まちづくりを 	13 気候変動に 具体的な対策を 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
--	--	---	--

豊富に存在する地域資源を活用した再生可能エネルギーの地産地消による地域内経済循環の創出を目指します。市民や事業者、行政が一体の再生可能エネルギー事業となるよう官民が連携して持続可能なまちづくりを進めます。

重点事業

再生可能エネルギー プロジェクト推進事業

5,986万円 (エネルギー推進課)

【再生可能エネルギーゾーニング調査】

再生可能エネルギーの導入を促進するゾーニングマップを作成します。

【宮古市版シュタットバルケ構築促進】

エネルギー政策の理解、関心を深める普及啓発や機運を醸成する取り組みを行います。

【宮古市スマートコミュニティ推進協議会事業】

再生可能エネルギーの地産地消、耐災害性の向上に資するスマートコミュニティ推進協議会の取り組みを支援します。

【宮古市再生可能エネルギー基金への積立】

地域の課題解決に向け、再生可能エネルギー事業から得た収益を再生可能エネルギー基金へ積み立てます。

宮古市版シュタットバルケとは

さまざまな再生可能エネルギー事業へ、市が資本参加することにより得られる収益を、再生可能エネルギー基金を通じて、公共交通の維持や福祉、教育などの地域課題を解決するための財源として活用する仕組み。



イラスト
エネルギーの現在と目指す姿

再生可能エネルギー設備導入 促進事業

2,250万円 (エネルギー推進課)

市民、市内事業者の積極的な再生可能エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システムおよび蓄電池システムの設置経費の一部を支援します。



3 持続可能な公共交通の構築

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



公共交通の利用は、環境への負荷を低減させ、省エネルギーの推進に大きく貢献します。高齢社会が進展していく中で、公共交通の必要性はより高まります。利便性を高め、市民の利用を促進し、公共交通を次世代へと継承していきます。

重点事業

公共交通利用環境の整備 3億6,350万円 (公共交通推進課)



写真：宮古駅

宮古駅の利便性向上のため、2つのホームをつなぐ跨線橋のエレベーター設置等のバリアフリー化工事を行います。

八木沢・宮古短大駅のアクセス改善に向けて、基本設計等の検討を行います。



写真：八木沢・宮古短大駅

地域バス運行 デマンドタクシー運行事業 3,651万円 (新里・川井総合事務所)

公共交通機関が不足する新里地域と川井地域において、住民の移動手段を確保するため、地域バスを運行します。

また、地域バスの停留所まで移動が困難な方を対象に、タクシー車両により移動手段を確保します。

JR山田線利用促進事業 330万円 (公共交通推進課)

利用促進を図るため、イベントの開催に合わせた臨時列車への運行支援や回数乗車券、通学定期券購入者への支援を行います。

タクシー確保維持事業 240万円 (公共交通推進課)

タクシーの利用拡大を図るため、タクシー協会が実施するデリバリーサービスを支援します。

路線バス対策事業 9,020万円 (公共交通推進課)

市民の移動手段を確保するため、バス事業者に対し運行経費の一部を支援します。また、利用促進を図るため、バス事業者との連携によるPR活動やICカードの普及促進を行います。



4 東日本大震災・台風関連の被災者支援



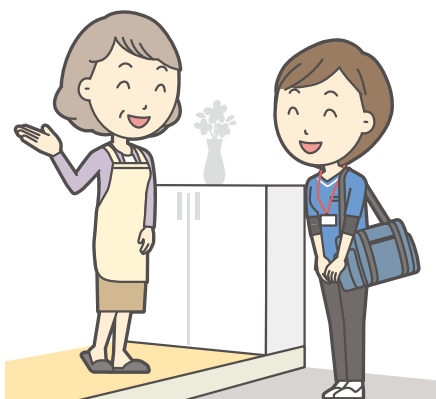
東日本大震災・平成 28 年台風第 10 号、令和元年台風第 19 号の被災者、被災事業者への支援を行います。

被災後期高齢者医療給付事業

490万円（総合窓口課）

被災した後期高齢者医療制度被保険者に対し、医療費給付事業を行います。4月診療分からは非課税世帯の方のみが対象となります。

※平成 28 年台風第 10 号は令和 3 年 12 月診療分までで終了。令和元年台風第 19 号は令和 4 年 12 月診療分まで延長となります



被災者支援事業

335万円（健康課）

被災者が健康で安心した生活を送れるよう、家庭訪問や健康相談を通じ、心身の健康を維持・増進できるよう支援します。

5 東日本大震災の記憶伝承



東日本大震災記憶伝承事業

1,020万円（企画課）

東日本大震災の記憶と記録を後世へ伝承していくための記録誌を編集、発行する。

※写真は宮古市でこれまでに刊行した東日本大震災関連の発行物



6 復旧・復興後の新たなまちづくりへの対応

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう



11

住み続けられる
まちづくりを



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



東日本大震災、平成28年台風第10号、令和元年台風第19号の被害からの復旧・復興を着実に進め、快適な市民生活の向上を図っていきます。

田老庁舎跡地整備事業 2億4,960万円 (田老総合事務所)

旧田老総合事務所の解体工事を行います。

解体後の跡地は、『「津波・歴史」の学習、伝承施設』として活用するため、整備に向けて実施設計を行います。



写真：旧田老総合事務所



写真：夜間に進む無電柱化の工事の様子

末広町線無電柱化推進事業 3億9,920万円 (都市計画課)

安全・安心、歩いて楽しい、にぎわいのあるまちづくり、歩行者空間を作るため、市道末広町線の電線類の地中化や道路の美装化を行います。

月山山頂等整備事業

1億円
(観光課)

月山山頂部における展望台や遊歩道等の園地の整備を行います。

老朽化した展望所の再整備を行い、市民やトレッキング愛好者の憩いの場としての活用を図ります。

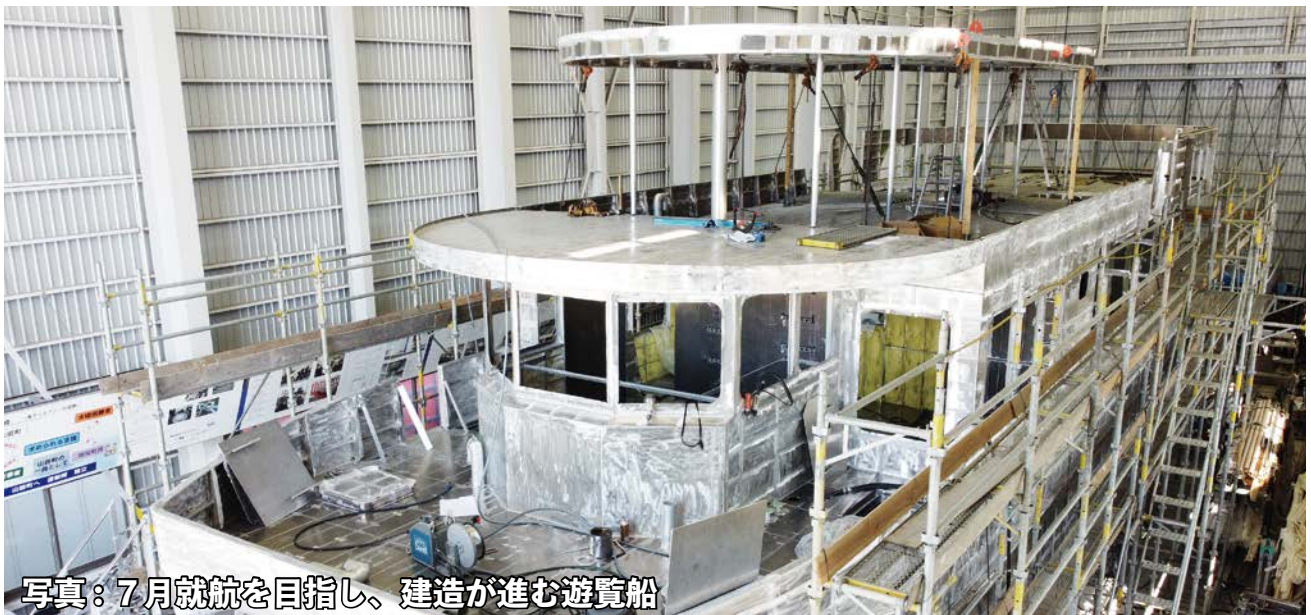


写真：月山山頂部の展望台から見た宮古湾

7 産業振興



地域観光資源の活用に取り組み、滞在時間の延伸、観光消費額の増大を図ります。また、地域産業を支え、事業の継続や発展を支援する体制づくりを強化します。



写真：7月就航を目指し、建造が進む遊覧船

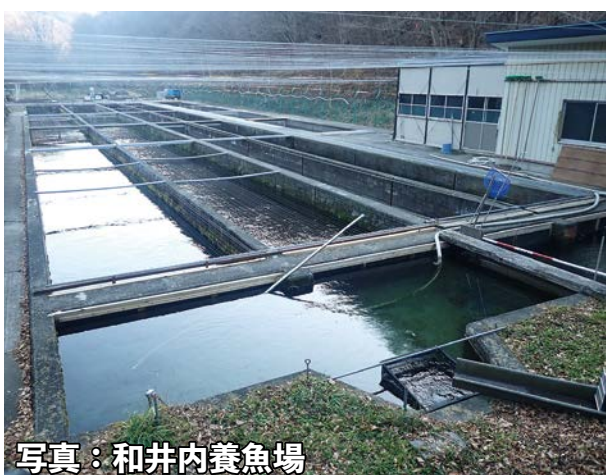
遊覧船運航事業

1億5,041万円
(観光課)

遊覧船を建造し、出崎埠頭の遊覧船発着所案内看板等の整備を行います。また、航路申請や誘客PR等により、令和4年7月から運航を開始します。



イラスト：出崎埠頭のしおかぜ公園完成予想図



写真：和井内養魚場

トラウトサーモン

種苗中間育成施設整備事業

1億840万円
(令和3年度補正：1億40万円、
令和4年度：800万円)
(水産課)

和井内養魚場に種苗の中間育成施設を整備し、宮古トラウトサーモンの生産量増大を図ります。

8 子育て支援の推進



「宮古市子ども条例」の理念に基づいた子どもと子育て家庭への支援事業を進め、子どもの権利を尊重し、健やかな成長を支えます。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整えることで、子どもを安心して幸せに育てられるまちの実現を図ります。

子ども医療費給付事業

1億1,200万円（総合窓口課）

乳幼児から高校生等（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）に医療機関の窓口無料化（現物給付）により医療費を支援します。

※高校生等は市内医療機関受診分のみ現物給付。市外医療機関受診分は償還払い（申請を受け、後日給付）。



在宅子育て支援金

1,760万円（こども課）

保育所などに預けずに家庭で子育てする世帯へ、月額1万5千円の支援金を支給します。これまで生後7カ月から満1歳まで（6カ月分）としていた支給期間を、最大満3歳まで（30カ月分）に拡大します。

※所得制限あり

9 健康・生きがいづくりの推進



すべての市民が、住み慣れた地域で安心して生活できる「いきいき健康都市」の実現に取り組み、健康寿命の延伸につなげていきます。

母子健康事業

6,586万円（健康課）

安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長できるよう、思春期・妊娠・出産・乳幼児期に至るまで一貫した各種事業（健康相談・健康教室・健診など）を実施します。



がん患者医療用補正具 購入費用助成

55万円（健康課）

がん治療により医療用補正具を使用するがん患者に対し、その購入費用の一部を助成することにより、治療と仕事の両立などの社会参加や療養生活を支援します。



10 教育環境の整備

4 質の高い教育を みんなに 	6 安全な水とトイレ を世界中に 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
--	--	---	---

郷土の自然や歴史を学び、郷土を愛する気持ちを深め、夢や希望を持ち未来へ歩むひとづくりによる「教育立市」を進めます。

**小中学校トイレ洋式化事業
山口小学校の改修事業**
3億9,860万円
 (教育委員会総務課)

山口小学校の大規模改修工事および渡り廊下改築工事の基本・実施設計、小中学校のトイレ洋式化工事など、老朽化した学校校舎の改修や施設整備を行います。



写真：改修工事を行う山口小学校



市立図書館サービス向上事業
3,307万円
 (市立図書館)

図書館利用者に配慮した施設運営を行います。
 新たに電子書籍の導入、駐車場拡張のための実施設計を行います

**野外活動センタートイレ
解体・新築工事**
2,130万円
 (生涯学習課)

野外活動センター施設をより快適に利用できるよう既存のトイレを解体し、水洗トイレを新築します。



写真：田代野外活動センターのイベント時の様子

11 道路交通網の整備

(建設課)

3 すべての人に健康と福祉を



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



市内道路整備を進め、通行の安全を確保します。また、道路交通網の整備について、国や県など関係機関に強く働きかけていきます。

崎山松月線道路改良事業 1億4,753万円

道路を線形改良します。



近内岩船線道路改良事業 2,348万円

道路を拡張改良します。



崎山古里線道路改良事業 4,583万円

急カーブ、急勾配区間に歩道を設置します。



岩穴線道路改良事業 1,000万円

市道岩穴線から国道340号への新たな接続道路を整備します。



和井内地区道路改良事業 1,000万円

市道永田清水線の拡幅及び国道340号への接続道路を整備します。



牛伏地区道路改良事業 1,040万円

道路の嵩上げや拡幅改良を行います。



松山線道路改良事業 1,000万円

道路を線形改良します。



※出典 国土地理院数値地図電子国土基本図に追記して掲載

宮古市で行っているシティプロモーションを紹介します

「浄土ヶ浜のいいイロ」プロジェクト

宮古市と（一社）日本地域色協会は、市のシティプロモーションの一環として地域資源を「地域色（ちいきしょく）」として定め、活用を広げる取り組みを協働で実施しています。令和3年度に「浄土ヶ浜」をテーマにした地域色を、候補色の募集から・選定、市民投票による決定まで市民参画型で取り組みました。

この「浄土ヶ浜のいいイロ」の活用を通じて、宮古市の魅力と元気を全国に向けて発信しています。

浄土ヶ浜
いいイロ
1116



Trail town MIYAKO

青森県八戸市から福島県相馬市まで総延長 1,025 kmの日本最大級のロングトレイル「みちのく潮風トレイル」。その道を歩く方を歓迎する取り組みとして「Trail Town MIYAKO（トレイルタウンみやこ）」を発信しています。また、宮古市内の“トレイルオアシス・オリジナルタスペトリー”を掲示したお店では、自主的にハイカーにおもてなしをしています。



サーモンランド宣言

宮古市では、鮭をシンボルとしてとらえ、本市の将来像である「森・川・海とひとが共生する安らぎのまち」を基調とし、まちづくりの考え方を「サーモンランド宣言」として表しています。

サーモンランド宣言は、鮭のごとく力強く活動するまち、心の豊かさやゆとりを実感できるまちを決意するものです。



サーモンランドみやこ

インターネットでの情報発信

宮古市ホームページ

<https://www.city.miyako.iwate.jp>



フェイスブック(Facebook)

<https://www.facebook.com/city.miyako>



ツイッター(Twitter)

https://www.twitter.com/miyako_city



インスタグラム (Instagram)

https://www.instagram.com/tokoton_miyako/



◎さまざまなメディアを活用して情報を発信しています。

ユーチューブ(YouTube)

<https://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/koho/youtube.html>



マチイロ

スマートフォンなどで「広報みやこ」を読むことができます
(Android) (iOS)

いわてモバイルメール

毎月1日・15日にお知らせがメールで届きます



ことはどんな仕事をするの？

〔発行〕岩手県宮古市

〒027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目1番30号

TEL：0193-62-2111 FAX：0193-63-9114